

北九州貨物ターミナル駅

総面積	194,867㎡(最大長2.8km、最大幅120m)
着発荷役線	4線(1,300t対応)
列車本数 (2022年12月現在)	上り28本、下り30本

北九州貨物ターミナル駅は、国内の主要幹線鉄道である鹿児島本線、日豊本線、山陽本線の分岐点にあり、九州と本州とを行き交すすべての貨物列車が停車する貨物拠点駅です。ここでは、定時性の高い全国に広がるネットワークによる国内輸送を行うことができ、また韓国や中国などアジア地域に近い特長のある北九州港で活発に行われている海上輸送との連携もできます。また、貨物列車は最大で10トラック65台分の輸送能力があり、CO2排出量の削減効果の高い輸送が行えます。



港湾空港局の組織・連絡先・担当業務

総務部 総務課

港湾空港局内の連絡調整、予算及び決算事務の総括、港湾事業における経営管理、地方港湾審議会の開催業務、市民太陽光発電所に関する業務などを行っています。

TEL 093-321-5911 FAX 093-321-5915

総務部 クルーズ・交流課

みなとの賑わいづくりを目指し、北九州港でのイベントの実施や、クルーズ客船の誘致などを行っています。

TEL 093-321-5939 FAX 093-321-5915

港営部 港営課

①港湾施設を管理する上で必要となる港湾施設使用料の設定などを行っています。

TEL 093-321-5932 FAX 093-331-5501

②施設の使用許可、北九州港の公共港湾施設等の管理運営などに係る総括を行っています。

【小倉地区・洞海地区】

TEL 093-321-5951 FAX 093-331-5501

【門司地区・西海岸・新浜・大里・新門司 北九州埠頭(株)門司事務所】

TEL 093-321-5928 FAX 093-321-0377

【門司地区・太刀浦・田野浦 北九州埠頭(株)太刀浦事務所】

TEL 093-331-0381 FAX 093-331-0385

③公共岸壁の使用許可を行っています。

TEL 093-321-5950 FAX 093-321-5953

④公共岸壁の保安対策、港湾情報システムの整備などを行っています。

TEL 093-321-5929 FAX 093-321-5953

港営部 物流振興課

①北九州港への集貨や定期航路の誘致を行うため、日本国内や海外において、メーカー、商社、船会社、物流事業者等を対象とした企業訪問や各種セミナー開催などを行っています。

TEL 093-321-5941 FAX 093-321-5936

②臨海部産業用地への企業誘致活動を行っています。

TEL 093-321-5988 FAX 093-321-5936

港湾整備部 計画課

①港湾の開発・利用及び保全や海岸の防護・環境整備に関する計画、また、それらの事業計画に関する業務を行っています。

TEL 093-321-5967 FAX 093-321-5915

②臨海部の再開発、海辺の活用に関する業務を行っています。

TEL 093-321-5967 FAX 093-321-5915

港湾整備部 整備課

①港湾工事の調査及び設計業務を行っています。

TEL 093-321-5975 FAX 093-321-5915

②港湾環境整備負担金の賦課・徴収を行っています。

TEL 093-321-5961 FAX 093-321-5915

③北九州港内の港湾施設の維持修繕工事の設計、工事監督業務及び港湾施設の新設工事の監督業務を行っています。

【東部】

TEL 093-321-5981 FAX 093-321-5915

【西部】

TEL 093-761-3427 FAX 093-761-1512

エネルギー産業拠点化推進室 エネルギー産業拠点化推進課

広大な産業用地と充実した港湾インフラを有する響灘地区において、本市の環境ブランドや地域に蓄積された産業技術を活用し、今後大きな成長が見込まれる再生可能エネルギー関連産業の集積を目指した「グリーンエネルギーポート」事業を行っています。

TEL 093-582-2994 FAX 093-582-2998

空港企画部 空港企画課

北九州空港の利用促進に関する業務や、機能拡充に関する関係機関との協議、連絡調整などを行っています。

TEL 093-582-2308 FAX 093-582-0181

「この地図は、北九州市長の承認を得て、同市所管の測量成果を使用して作成したものです。(承認番号)令和2年北九建都計第510号」
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-394号」「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 294-176号」

私たち北九州港は、皆様にとっての「ソリューションポート」を目指しています。

荷物一つ一つには、それぞれの「思い」が詰まっています。その「思い」を大切に、さまざまな課題を解決する港となるために。アジアに開かれた地の利を生かし、高品質な物流ネットワークでビジネスをサポートします。



北九州港のご相談なら **北九州港航路集貨対策委員会** (北九州市港湾空港局物流振興課)

TEL 093-321-5941 FAX 093-321-5936 〒801-8555 北九州市門司区西海岸1-2-7

(R05.01更新)



ACCESS MAP

北九州港アクセスマップ



物流ガイドマップ

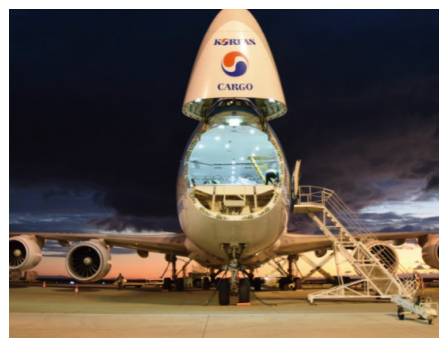


アジアに近い地理的優位性

北九州港は韓国・釜山まで約230km、
中国・上海まで約1,000kmと近接しており、経済発展が著しい
アジアの活力を取り込む最適なポジションにあります。
この絶好のロケーションを活かして、
多種多様なサービスを提供しています。



豊富な定期コンテナ航路網
中国、韓国、台湾を中心にアジア各国の港と密
に結びついているのが北九州港です。
さらに、阪神、瀬戸内、日本海沿岸各地を結ぶ、
内航コンテナネットワークが整備されています。



北九州空港

24時間利用可能な海上空港です。その利便性を活かし、国
内外から時間を問わず、フレーター受け入れが可能です。
また、空港島内の護岸を利用した「Sea&Air」も可能です。

国際貨物便

- 定期便** 大韓航空、UPS (令和5年2月就航)
- 就航エアライン** 大韓航空、シンガポール航空、
日本貨物航空、アトラス航空、
エアブリッジカーゴ、ボルガドニエブル航空

海から陸へ、空へ。
どこからでも、
どこへでもつながる
総合物流都市。

国内外のあらゆる輸送モードで 物流ニーズに応える

歴史ある「門司(太刀浦)」と多目的利用の広がる
「ひびき」の二つのコンテナターミナル、
完成車や半導体製造装置輸送のROROターミナル、
関東、関西、四国とを結ぶ西日本最大級のフェリーターミナル、
本州と九州の東西とを結ぶ高速道路網と貨物鉄道。
このように北九州市は、さまざまな物流インフラを通じて、
国内各都市をはじめアジア地域を中心に多くの国・地域とつながる
「総合物流都市」として西日本の一大物流拠点の役割を担っています。



- 阪九フェリー**
(新門司-神戸(六甲アイランド))
1便/日【12時間】
- 阪九フェリー**
(新門司-大阪(泉大津))
1便/日【12時間】
- 名門大洋フェリー**
(新門司-大阪(大阪南港))
2便/日【12時間】
- 東京九州フェリー**
(新門司-横須賀)
1便/日【21時間】
※日曜日を除く
- オーシャントランス**
(新門司-徳島-東京)
1便/日【35時間】
- フジトランス コーポレーション・
トヨフジ海運**(新門司-名古屋他)
7便/週【12時間】
- 松山・小倉フェリー**
(小倉-松山)
1便/日【7時間】
- マルエーフェリー・
南西海運**(ひびき-沖縄)
3便/週【翌々日着】

フェリー・RORO航路

北九州港は長距離フェリー発祥の地であり、
特に新門司地区は関東、関西、四国とを結ぶ
西日本最大級のフェリー基地であるとともに、
RORO船による自動車輸送の拠点となっ
ています。
また、ひびきコンテナターミナルには沖縄と
のRORO航路も就航するなど、国内外との
シームレスな物流も可能です。



新幹線 小倉駅から	高速道路 門司I.Cから
東京駅 4時間50分	東京I.C 約11時間
名古屋駅 3時間	名古屋I.C 約8時間
新大阪駅 2時間10分	東大阪I.C 約6時間
博多駅 15分	飛行機 北九州空港から
熊本駅 55分	東京 1時間30分
鹿児島中央駅 1時間35分	沖縄 1時間40分

① 門司(太刀浦) コンテナターミナル

第1ターミナルと第2ターミナルから成る、西日本有数のコンテナターミナルです。

月間約130便ものコンテナ船が、中国や東南アジアとダイレクトに結ぶほか、

釜山や神戸港とのフィーダー接続により、全世界と結ばれています。

また、港運会社9社が出資した「関門コンテナターミナル株式会社」が、

共同でターミナル作業を実施することで、正確・迅速・効率的な

コンテナオペレーションが行われています。



区分	第1コンテナターミナル	第2コンテナターミナル
供用開始	昭和54年	昭和62年
岸壁・延長	658m(取り付け部含む)	555m
水深	-12m	-10m
ターミナル総面積	16ha	16ha
コンテナクレーン	4基	3基
定格荷重	40.6t×2 / 30.5t×2	30.5t×3
オンデッキコンテナ積載	13列5段×2 / 13列3段×2	13列3段
ストラドルキャリア	15台	13台
蔵置能力	8,647TEU	5,239TEU
冷凍コンセント	400V×95	400V×96・200V×36

搬出入時間

(対象ゲート搬出入 / CY内検査 / サービスセンタ搬出入)

- 平日 8:30~17:00(要作業予約16:00~17:00)
- 土曜日 8:30~12:00
- 日祝日 当日荷役船(荷役作業時間内)に係る(HDS対応有)

作業予約時間

(対象:平日16:00~20:00 / 日祝終日)

- 平日 当日の15:30迄
- 日祝日 前日(平日)の15:30迄





24時間
Web上で
確認可能!

MOJI PORT Web
門司港コンテナターミナル貨物情報サービス
<http://www.moji-cont.com/>

- ① 本船スケジュール照会
- ② 本船荷役情報照会
- ③ 検査情報照会
- ④ GATE前ライブ映像

② ひびきコンテナターミナル

アジア・北米を結ぶ日本海ルート上に位置し、大型船の寄港に適した大水深(-15m)のバースと、39haの広大なコンテナヤードを有するコンテナターミナルです。

広大なCYには貨物の大量蔵置が可能であり、また、背後の広大・安価な産業用地には、企業立地や物流施設の建設が加速しており、今後、更なる発展が見込まれています。

沖縄・那覇行きRORO航路

船会社	行き先	便数	
マルエーフェリー 南西海運	那覇 (注1) (注2)	3便/週	ひびきCT発ダイヤ
			ひびきCT→那覇新港 (火)22:00→(木)6:30 (木)19:00→(土)8:30 (土)22:00→(月)6:30 (注2)
			ひびきCT着ダイヤ
			那覇新港→ひびきCT (月)15:00→(火)17:00 (火)17:00→(木)8:30 (金)15:00→(土)17:00 (注2)

(注1)先島向けトランシップ対応も (注2)詳細については、運行会社HP等で確認してください。

区分	コンテナ船バース
供用開始	平成17年
岸壁・延長	350m×2
水深	-15m
ターミナル総面積	39ha
コンテナクレーン	3基
定格荷重	40.6t×3
オンデッキコンテナ積載	18列6段
トランスファークレーン	7台
蔵置能力	22,464TEU(4段積み)
冷凍コンセント	400V×324

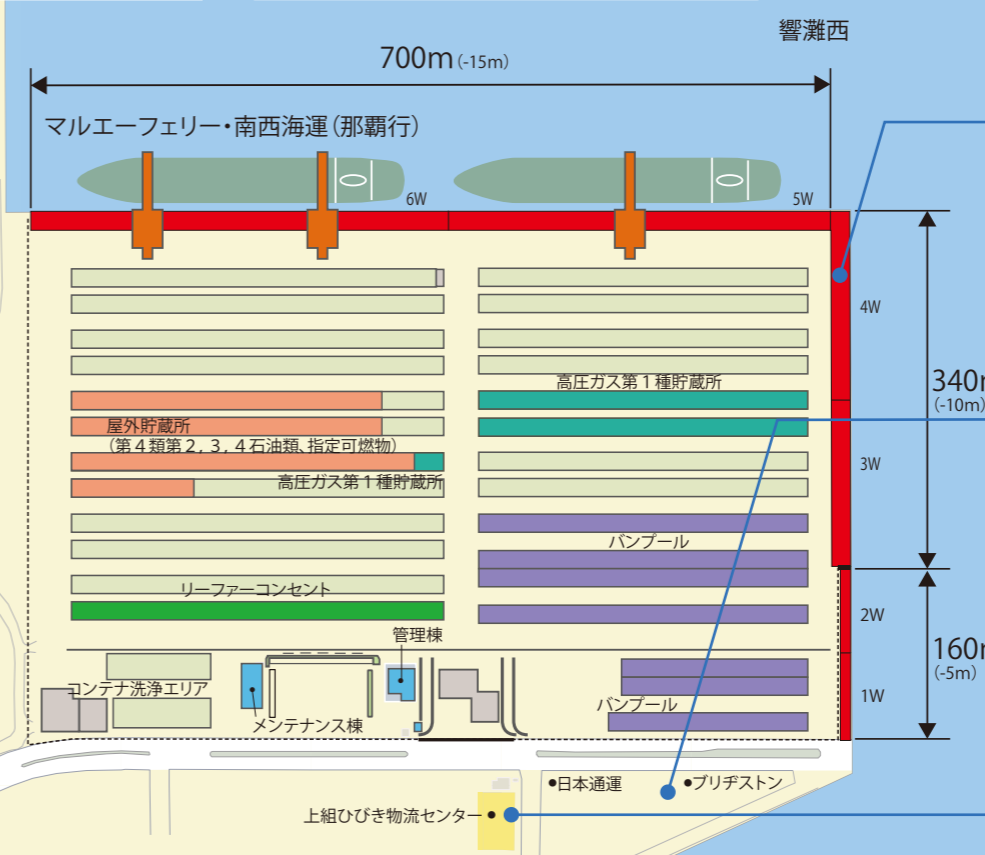
搬出入時間

平日 8:30~16:30



日本で最大級のCY内危険物貯蔵エリアを設定

CY内に消防法に適合した屋外貯蔵所を設定することで、危険物第4類第2、3、4石油類(一部リーファ貨物含む)及び指定可燃物、高圧ガスの貯蔵が可能。



多目的バース(大型タイヤ荷役)

大型タイヤ ストックポイント
ブリヂストン
敷地面積：7,000㎡
日本通運
敷地面積：8,000㎡



上組ひびき物流センター
敷地面積：50,369㎡
延べ床面積：900㎡
加温倉庫

日本通運(大和ハウス工業)
ひびき国際物流センター
(HILC)
敷地面積：39,700㎡
延べ床面積：23,900㎡



ひびき灘開発
ひびきポートランドR-1号倉庫
敷地面積：18,000㎡
延べ床面積：3,300㎡



鶴丸海運
ひびき物流センター
敷地面積：15,753㎡
延べ床面積：3,730㎡



- 凡例
- 倉庫・上屋
 - 岸壁
 - SOLASフェンス
 - SOLASフェンス出入口



③ 新門司フェリーターミナル

大阪南港に毎日2便、泉大津、神戸、東京及び徳島に毎日1便のフェリー、名古屋に週7便のRORO船が就航しており、西日本屈指の国内フェリー・RORO航路を有しています。北九州港は、全国2位のフェリー貨物量を誇り、現在、フェリーの大型化や物流施設の立地が進んでおり、トラックドライバー不足が深刻化する中、フェリー輸送への期待が一層高まっています。



新門司発着フェリー航路

航路	月～木		金～日	
	大阪南港	18:40発	20:00発	17:30発
泉大津	17:30発	19:50発	17:30発	19:50発
神戸	18:40発	20:00発	17:30発	19:50発
東京	23:55発	20:00発	23:55発	20:00発
徳島	19:00発	18:00発	19:00発	18:00発

航路	月～土		日・祝	
	大阪南港	18:30発	翌日07:00着	18:30発
泉大津	17:30発	翌日06:00着	17:30発	翌日06:00着
神戸	18:30発	翌日07:00着	18:30発	翌日08:30着
東京	23:45発	翌日21:00着	23:45発	翌日21:00着
徳島	19:00発	翌日05:35着	19:00発	翌日06:30着

新門司発着RORO航路

航路	5寄港			11寄港			10寄港		
	名古屋	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発
徳島	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発	14:00発
東京	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発	14:00発	17:00発	17:00発	14:00発



凡例

- 倉庫・上屋
- 公共機関
- 冷凍・冷蔵倉庫
- 危険物倉庫
- 岸壁
- 荷さばき地・野積場
- SOLASフェンス
- SOLASフェンス出入口

④ 門司区西海岸

北九州港発祥の在来埠頭です。
 周辺の工場で使用される砂糖、とうもろこし、飼料、穀物などの
 荷揚岸壁として使用されています。

凡例

- 倉庫・上屋
- 公共機関
- 冷凍・冷蔵倉庫
- 危険物倉庫
- 岸壁
- 荷さばき地・野積場
- SOLASフェンス
- SOLASフェンス出入口



⑤ 田野浦ROROターミナル

中古自動車の輸出起点として、約2000台の
 中古車蔵置能力を有するターミナルです。
 また、RORO船による精密機器の国際輸送拠点としても活用されています。

田野浦ROROターミナルの概要

岸壁	田野浦3・4号岸壁 370m
水深	-10m
ヤード面積	41,900㎡ (田野浦自動車物流センター)

主要航路

- ・ニュージーランド(月2便)
- ・韓国、中国(不定期)



⑥ 小倉(浅野)フェリーターミナル

JR小倉駅から徒歩圏内の利便性に優れたターミナルです。
 市小倉北(松山)へ毎日1便のフェリーが運行されています。
 また、震災時に緊急物資の輸送などに対応する耐震強化壁
 が整備されています。

愛媛・松山行きフェリー航路

社名	行き先	発着時間
松山・小倉フェリー	松山	小倉発 21:55 → 松山着 翌日5:00
		小倉着 翌日5:00 ← 松山発 21:55



⑦ 日明

都心部に近く、北九州都市高速や北九州貨物ターミナル駅へのアクセスも良好で、背後には多数の物流施設が集積しています。



⑧ 響灘臨海工業団地

広大な用地を持ち、地区内に整備された豊富な港湾インフラにより、原材料や製品の海上輸送に適した工業団地で、プリチストンを始め、製造業を中心とした数多くの企業立地が進んでいます。また、アジア諸国と連携した生産拠点としても最高のロケーションです。さらに団地を含めた響灘地区は「次世代エネルギーパーク」として認定されており、今後、製造業だけではなく、グリーンエネルギー関連施設の集積も期待されています。

